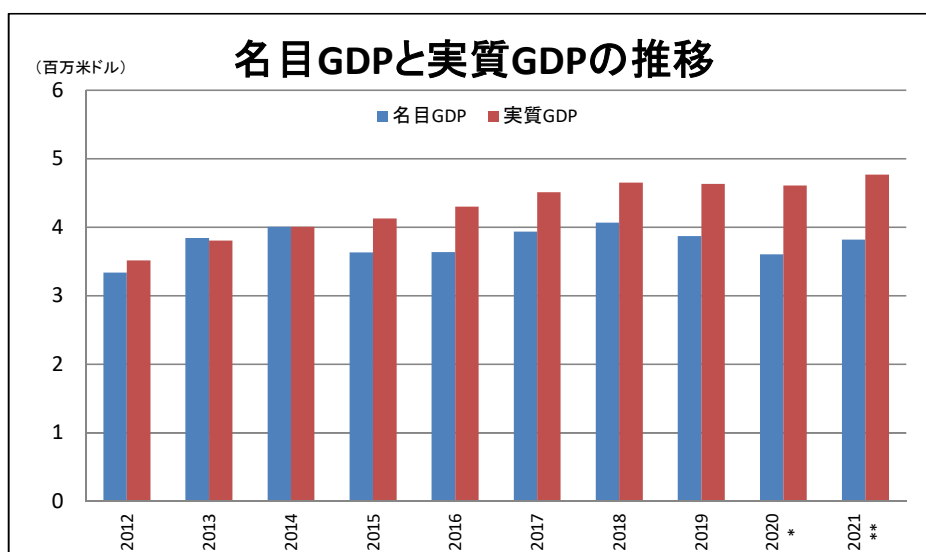


パラグアイ主要経済指標(2021年1月)

※ I ~ V および VII は全てパラグアイ中央銀行発表データ

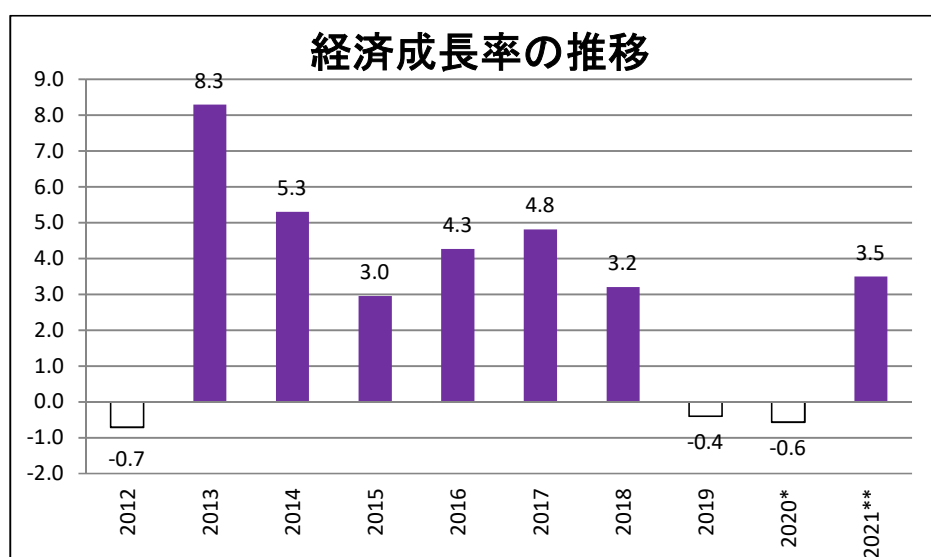
I 名目GDP・実質GDP・経済成長率

●1月時点で2021年度の名目GDPは38,198百万米ドル、
実質GDPは47,711百万米ドルと推定されている



※2020年は暫定値、2021年は推定値

●1月時点で2021年の経済成長率は3.5%と推定されている。



※2020年は暫定値、2021年は推定値

II 貿易

<2021年1月貿易データ概要>

(1)輸出

1月の輸出総額は541,887千米ドルであった。

* 前年度比11.1%増

(大豆種子61.8%減、大豆油33.4%増、大豆粉182.4%増、穀物103.1%増、肉類7.5%減、電力14.1%減、自動車部品(ハーネス)4.8%増、その他15.5%増)

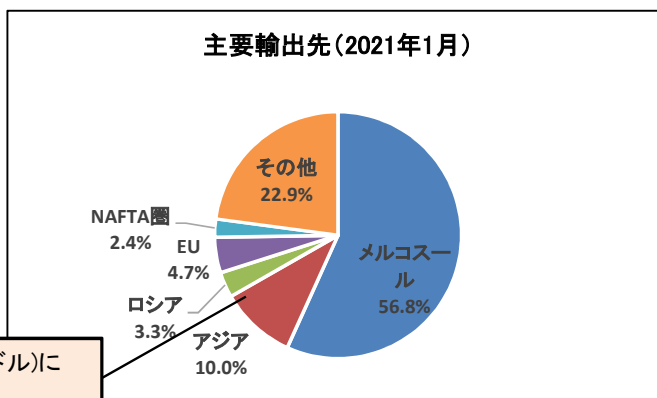
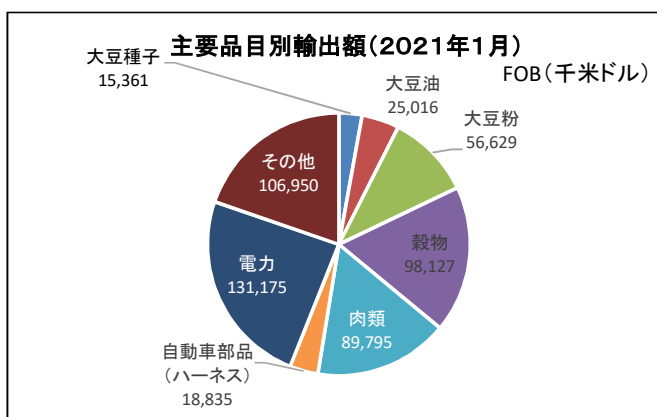
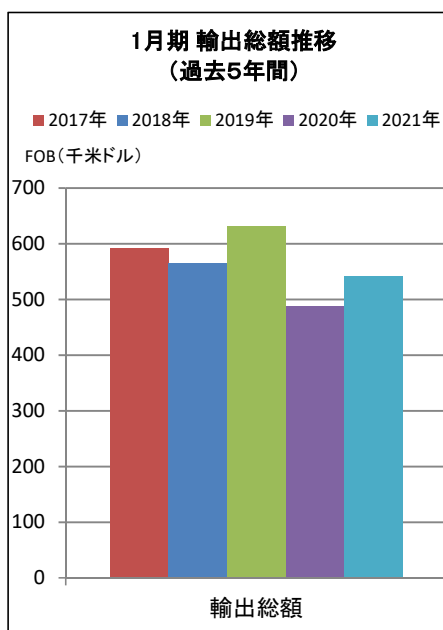
(2)輸入

1月の輸入総額は761,609千米ドルであった。

* 前年度比24.4%減

(食料品16.9%減、酒類・タバコ11.8%減、紙・布類・薬・衛生用品等28.0%減、燃料29.9%減、自動車・電子機器等45.3%減、化学物質・薬品14.8%減、機械類・部品24.6%減、その他16.9%減)

(1)輸出



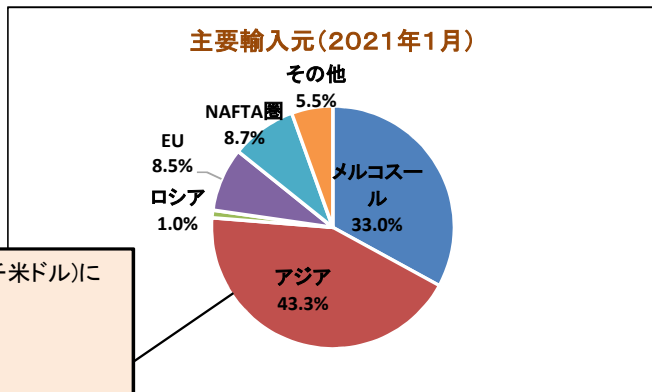
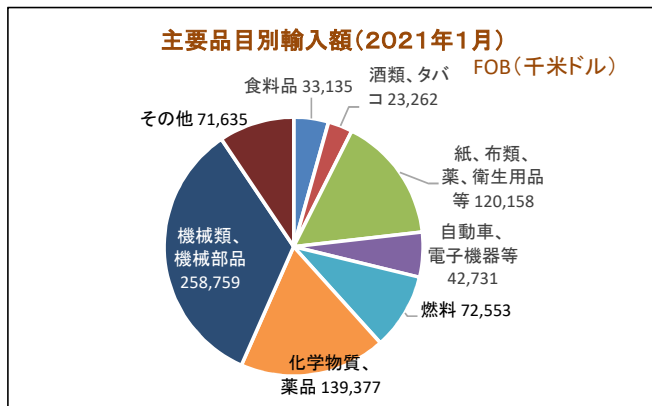
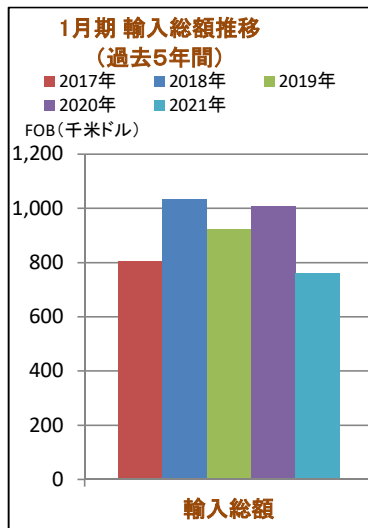
【アジア向け輸出(総額53,927千米ドル)に占める割合】

台湾: 6,393(千米ドル)【11.9%】

日本: 684(千米ドル)【1.3%】

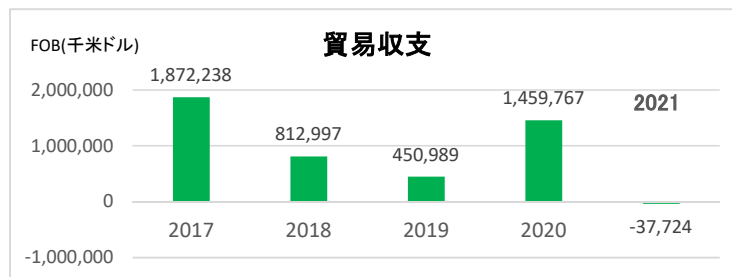
中国: 1,939(千米ドル)【3.6%】

(2) 輸入



【アジアからの輸入(総額3,999,746千米ドル)に占める割合】
 台湾: 2,762(千米ドル)【0.8%】
 日本: 10,112(千米ドル)【3.1%】
 中国: 246,984(千米ドル)【74.9%】

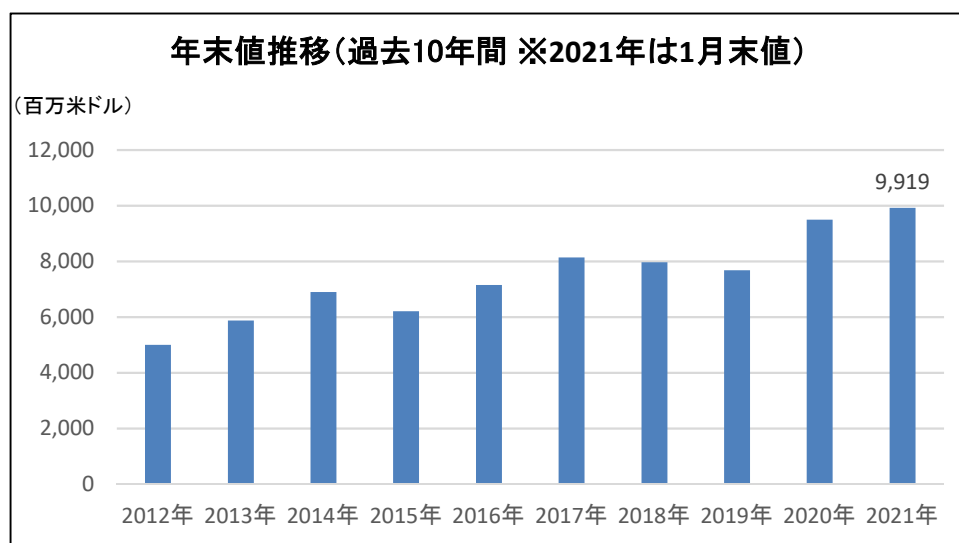
(3) 貿易収支(過去5年間、再輸出等を含めた総額ベース)



※2021年は1月データ

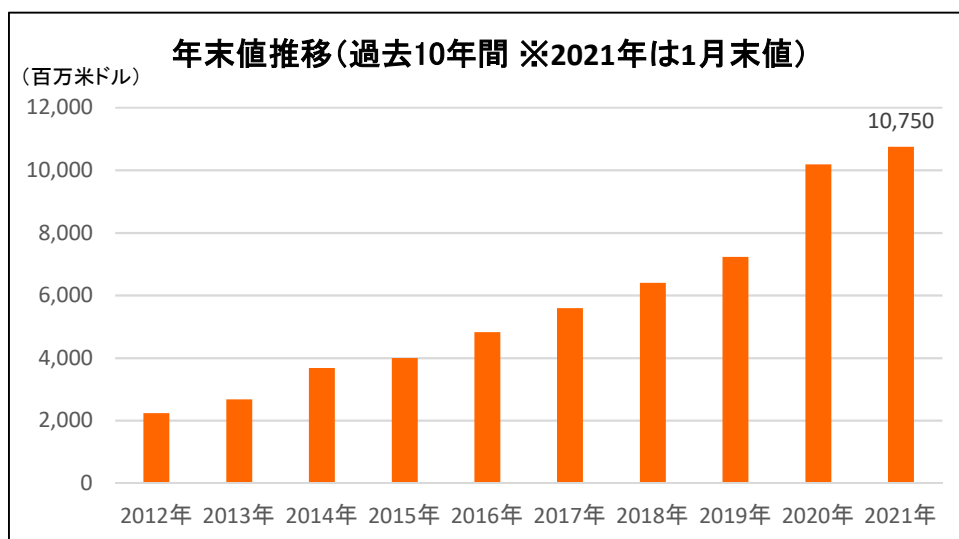
Ⅲ 外貨準備高

2021年1月末の外貨準備高は、約9,919百万米ドルであった。



Ⅳ 対外累積債務

2020年1月末の対外累積債務は、約10,750百万米ドルであった。



V 消費者物価指数

＜消費者物価指数概要＞ *小数点第二位切上げ

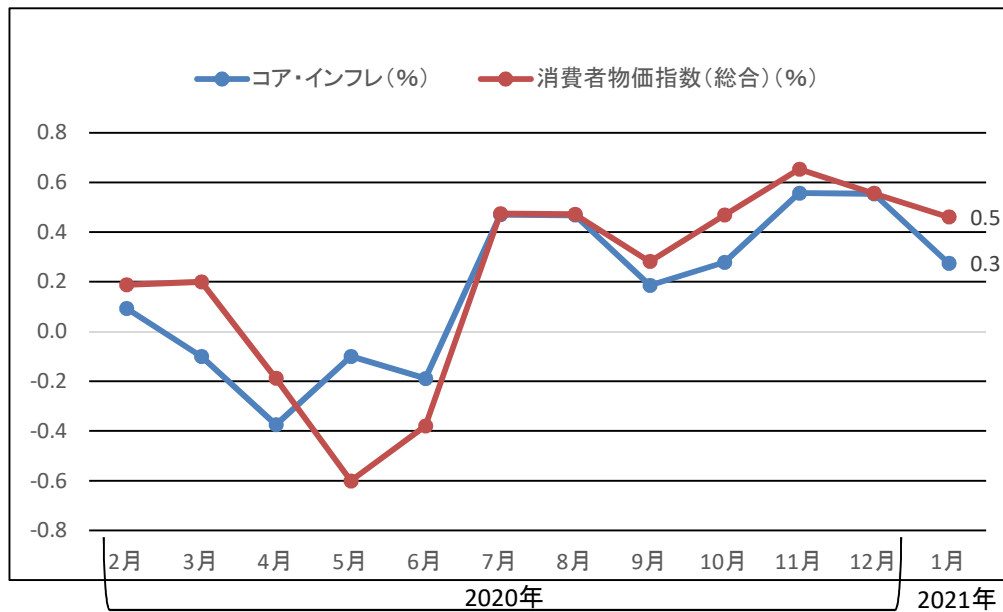
(1)コア・インフレ

1月のコア・インフレ率は0.3%であった。

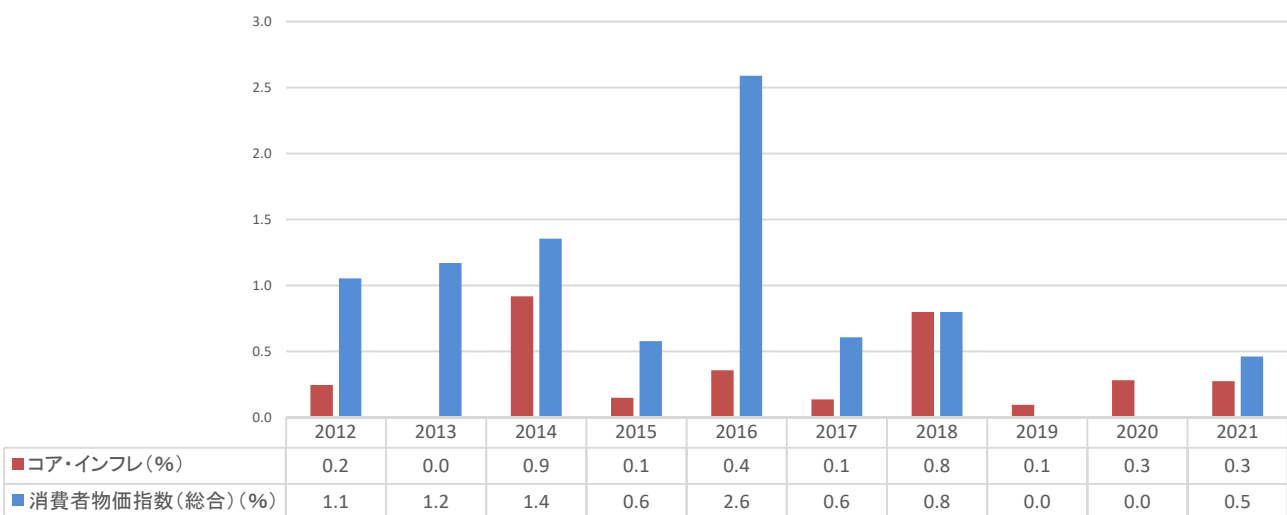
(2)消費者物価指数上昇率(総合)

1月の消費者物価指数上昇率(総合)は0.5%であった。

＜過去12か月推移＞



【参考】2012～2021年 年間累積値(1月時点)比較



VI 雇用統計(パラグアイ統計局発表) ※前月より変更なし

2020年第4四半期の失業率(全国)は7.2%(266,902人)であり、前期より1.0ポイント下落した。
男性4.9%、女性10.2%であり、依然として女性の失業率が高い。

<2020年(四半期)失業率(%)推移>

期間	全国	男/女(全国)	都市/農村
第1四半期	7.9	6.3/10.1	8.8/6.4
第2 "	7.6	6.7/8.8	9.1/4.9
第3 "	8.2	5.8/11.5	10.1/4.7
第4 "	7.2	4.9/10.2	8.8/4.1

※BoquerónとAlto Paraguay除く
*小数点第二位切り捨て

<最低賃金>

2020年1月現在:2,192,839グアラニー

参考:最低賃金の改定歴(2010年~, グアラニー)

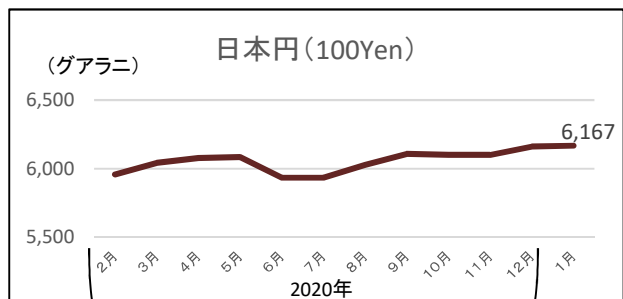
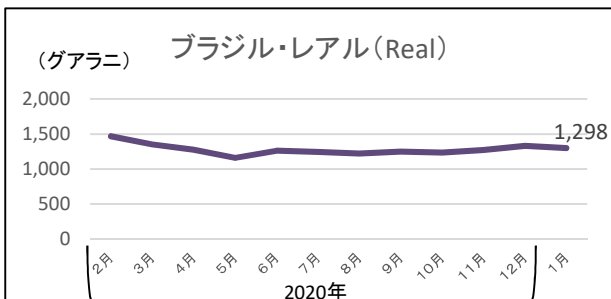
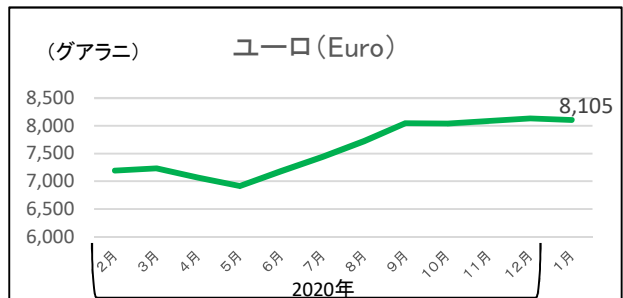
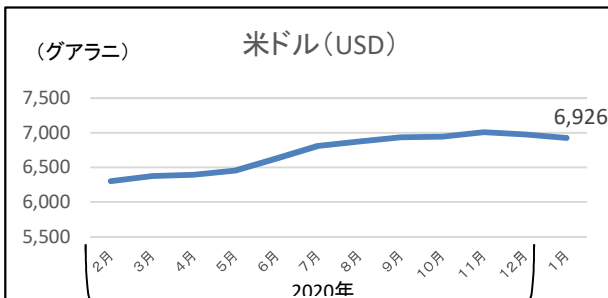
改定日	最低賃金	一日あたりの賃金	前回からの増加率
2010年7月	1,507,484	57,980	7%
2011年4月	1,658,232	63,778	10%
2014年3月	1,824,055	70,156	10%
2016年12月	1,964,507	75,558	7.7%
2017年7月	2,041,123	78,505	3.9%
2018年7月	2,112,562	81,252	3.5%
2019年7月	2,192,839	84,340	3.8%

VII 為替相場

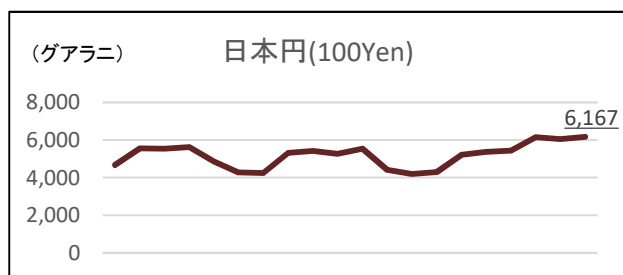
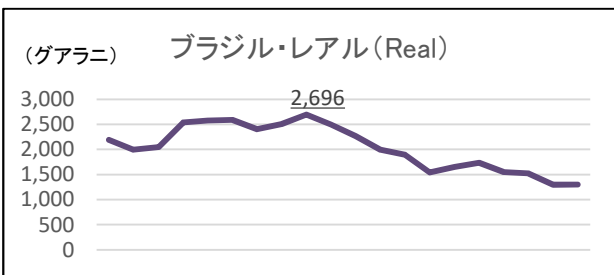
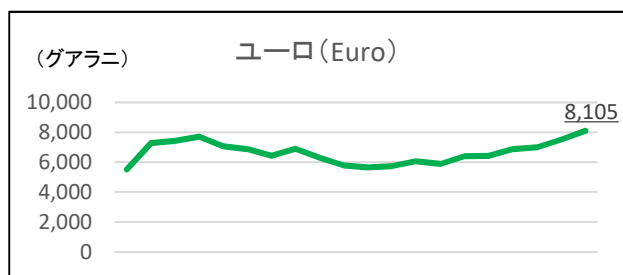
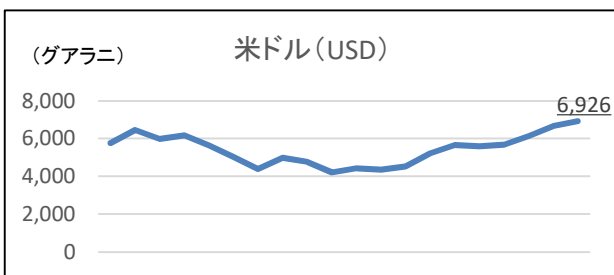
<為替レート概要(月平均値、売値)>

- (1) 対ドル(Gs/US\$)
1月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は6,926 Gsとなった。
- (2) 対ユーロ(Gs/EURO)
1月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は8,105 Gsとなった。
- (3) 対リアル(Gs/REAL)
1月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,298 Gsとなった。
- (4) 対日本円(Gs/円)
1月の対日本円為替レート(Gs/円)は6,167 Gsとなった。

<過去12か月推移>



【参考】各主要通貨対グアラニー為替相場: **年平均値推移(2002~2021)** (下線部は最安値)



VIII 1月の経済トピックス

1 2021年予算の公布

10日、政府は、前年度当初予算よりも6.8%増の92兆2千億グアラニー（130億1千万ドル）の2021年予算を公布した（注：2020年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、予算の増額が行われ、2021年度の予算は最終予算よりも8.7%減となった）。中央行政機関全体では、予算増は公共事業通信省（MOPC）が83%、情報技術通信省（MITIC）は46.5%、厚生省が26.5%で、これら3つの省で大幅な予算増加がなされた。財政赤字はGDPの4%となると予測されており、財政赤字を補うため、新たな借款が予定されている。

2 中小企業支援に向けたEUとの連携

27日、カスティグリオニ商工大臣とベリツィーニEU大使は、投資やメルコスールに関連する話題の中でもとりわけ、零細・中小企業（mipymes）の強化を目的として商工省の支援プログラムについて話合った。同大使によると、同商工大臣とは、同省がパラグアイの民間セクターを主な対象に、現在また将来実施する支援と、EU・メルコスール間の協定締結に向けた準備を現状でどのように進めればよいのか、の2点を中心として、EUとパラグアイの商業や投資に関する話題も扱われた。また、同大使は、現在、EUはパラグアイと共にまさに中小企業の生産性、競争性を向上させ、フォーマルセクター率の上昇を促進するため「Mipyme Compite」という中小企業支援プログラムを広く実施中であり、EUはパラグアイの中小企業が成長できるような有益なサービスについて引き続き相談に応じ、商工省を支援すると話した。

3 2020年の年間食物輸出量

中銀の貿易統計によると、2020年の食物輸出量は1,294万トン（輸出額：51億900万ドル）となり2019年よりも41万3千トン増加した。輸出食物の第1位は大豆であり、全体の51%と大部分を占める。2020年は、661万トン（輸出額：21億4,600万ドル）の大豆が多様な市場に輸出され、2019年の490万トンより35%増加した。食物の主な輸出先は、アルゼンチン（16億1,800万ドル）とブラジル（2億5,200万ドル）であった。また、精肉の輸出も好調で、2020年は輸出量31万7,700トンとなり、前年よりも10%増加した。精肉の輸出額は11億8,500万ドルであり、主な輸出先はチリ（4億4,500万ドル）、ロシア（2億3,200万ドル）であったが、ロシアへの輸出は前年度より30%減少した。しかしながら、台湾、イスラエル、エジプトなど輸出先の多様化によって、ロシア向け輸出の減少分が補填された。さらに、油（63万1千トン）、大豆粉（207万トン）、穀物（330万トン）も好調だった。